

徳島教育大綱

基本方針

未知の世界に果敢に挑戦する夢と志あふれる「人財」の育成

めざす児童像

- ◎子どもたちに、「笑顔」「よろこび」「希望」があふれる学校
- ◎保護者や地域の教育力を結集した学校
- ◎教職員にとって働くよろこびが感じられる学校

ナンバーワンスクール

箸蔵再発見！地域交流ナンバーワン！

～箸蔵ならではのつながりを活かして、豊かな心を育む～

- 1 関係機関との連携を深め互いにプラスとなる交流をする。
- 2 交流を通して学んだことを、伝え合う活動を充実させる。
- 3 コミュニケーション能力を育む機会とする。

学力向上

①児童の実態を鑑み、基礎・基本の定着を目指した学力向上策に取り組む。

【聞く力・話す力】

- 相手の話を目と耳と心で聴きとる(理解する)力を定着させる。
- 適切な声の大きさや話す速さ等、目的や聞き手を意識しながら話せるようにする。
- 根拠や理由を明らかにして、相手にわかりやすく自分の考えや思いを伝えるようにする。

【書く力】

- 継続的にテーマ作文に取り組み、すらすら作文シートを活用し、推敲する力をつける。

【学習ツール】

- 主体的・対話的な学習のために、タブレットやホワイトボード等を効果的に活用する。

②学校や地域の教育力を活かし、学習習慣の定着に取り組む。

- 宿題+自主学習で「学年×10分」の家庭学習実施率80%以上をめざす。
- 自主学習の仕方や内容を具体的に示し、自主学習ノート数(中学年:年間1冊以上,高学年:2冊以上)の達成率80%以上をめざす。
- 読書オンリーデーと箸蔵メディアルールを定着させ、家庭読書を推進する。
- 年間目標冊数(低学年150冊・中学年100冊・高学年40冊)の目標達成率90%以上をめざす。

校訓

「創造」「協同」「鍛錬」

学校教育目標

自他を尊び
ともに学びあい ともに支えあう
知・徳・体の調和のとれた子どもを育成する

三好市教育振興計画

「郷土を愛し、生涯を通して『学び』を実現する教育の創造」

三好市教育委員会 基本目標

「一人ひとりが輝く活力ある教育の推進」

三好市教育委員会 学校教育重点施策

「たくましく、未来にはばたく子どもの育成」

めざす教師像

- ◎強い使命感、鋭い教育観をもった教師(素養)
- ◎豊かな人間性と思いやりのある教師(担能力)
- ◎専門性を高め、授業改善に努める教師(授業力)
- ◎家庭や地域との信頼を築き、ともに伸びようとする教師(協働力)

めざす子ども像

かしこく

進んで学ぶ子

- ☆基礎・基本の定着
- ☆自ら学び、考える
- ☆コミュニケーション能力の育成

やさしく

思いやりのある子

- ☆命や人権を大切にする
- ☆地域を愛する心の育成
- ☆あいさつ運動

たくましく

健康でたくましい子

- ☆体力づくりの推進
- ☆安全教育の充実
- ☆基本的生活習慣の定着

学校経営基本方針

「笑顔とやる気があふれる箸蔵小学校」

- 笑顔とやる気に満ちた子どもを育てる
- 笑顔とやる気(やりがい)に満ちた協働する教職員集団になる
- 地域の方に誇りと思ってもらえる学校づくりをすすめる

豊かな心

①すべての教育活動に「人権尊重の精神」が息づく取組を行う。

- 様々な人権課題についての学習を深め、家庭への啓発を図る。(年1回以上の授業参観、人権講演会の実施)
- 人権学習のまとめとして、人権集会を年1回以上行う。
- 週に1回、「クラスのこと教えてタイム」で児童に関する情報を共有し、一人ひとりへの適切な支援に活かす。
- 学年間交流、交歓学習等の交流を通して、コミュニケーション能力や相手を尊重する態度を育てる。
- 地域の様々な方と関わる中で、コミュニケーション能力や礼儀、感謝する心等の豊かな感性を育ていく。

②「いじめゼロ・不登校ゼロ・体罰ゼロ」の学校づくりに取り組む。

- 生活向上(いじめ防止)委員会が主となり、児童が互いに認め合えるような活動を行う。
- 月に1回「君のこと教えてシート」を使い、いじめ等がないか状況把握に努める。
- 人権尊重の視点に立った生活目標を設定する。
- メディアの適切な利用について、家庭と学校双方向で連携した取組を進める。

③さまざまな活動にポジティブな行動支援を行う。

- 全教職員で取り組み、児童の意欲を高める。
- 『はしくらっ子5つのちかい』の中の「あいさつ」「そうじ」「はきもの」について、重点的に身につけられるようにする。「そうじ」については具体的振り返りを行う。

ステップアップスクール

笑顔とやる気あふれる はしくらっ子

～聴く・考える・伝える力と体力の向上～

- 1 よく聴き考え、伝え合い、深めよう!
- 2 適切な声の大きさと話そう!
- 3 みんなそろって心と体を鍛えよう!

体力向上

①「体力向上計画」に基づく体力向上策に取り組む。

- 「H(箸蔵っ子)K(かっこいい)T(体操)」を継続的に実施し、外部の専門家と協力しながら柔軟性の向上を図る。
- 業間休みにおける「わくわくタイム」の参加率を100%にする。
- 新体力テストの項目に準じた運動を「わくわくタイム」や体育の授業でも行い、新体力テストのスコアアップを図る。
- 体育の授業で、準備運動に自重トレーニングを毎回行う。
- ウェアラブル端末を用いて運動量を測定し、体力向上を図る。(4~6年)

②食育等を推進し、健康な生活を推進する。

- 食べ始め10分間は、しっかりかんで食べることを意識できる児童の割合を100%にする。
- 栄養教諭による給食時間の食育指導を月1回以上行う。
- 月に1回以上保健指導や生活を振り返る時間を取り入れ、早寝・早起き・朝ご飯の確立ができる児童の割合を90%以上にする。

③体育的活動等に、積極的に参加するよう働きかける。

- 体操・水泳・陸上・マラソン大会等への参加率90%以上をめざす。



昨年度の活動の様子

